

【所蔵作品展】 Museum collection exhibition

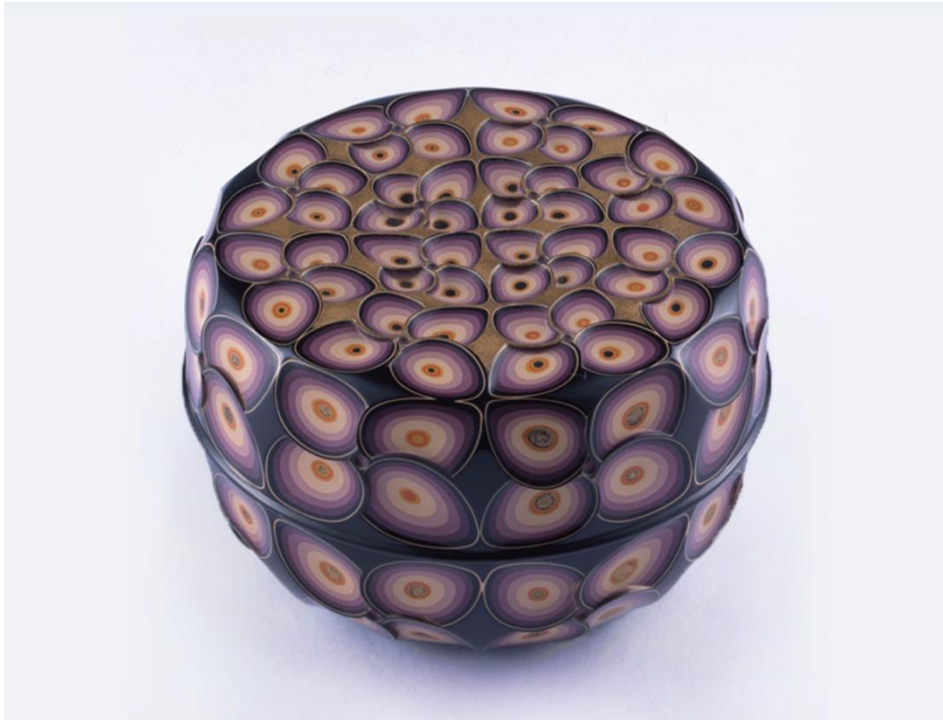
# こども+おとな工芸館 ナニデデキテルノ？

Crafts Gallery for KIDS+ADULTS What's it made of?

2016年7月16日(土)～9月8日(木)

東京国立近代美術館工芸館（千代田区・北の丸公園）

高校生以下&65歳以上  
観覧料無料！



広報用図版 1

音丸耕堂《彫漆紫陽花茶器》  
1994年

## こどもたちと一緒に工芸を見たことはありますか？

工芸鑑賞はちょっとむずかしそう…と心配されることがあるけれど、作品を見たこどもたちは、おとなの予想を軽く乗り越えて、生き生きと反応してくれます。きらきら輝く目のなかは「！」や「？」でいっぱい——好奇心が踊るようにあふれでて、そのわくわく感に周囲で見守るおとなたちも嬉しくなるほどです。こどもの興味を惹きつけるのは、なんとといっても、それが何でできているのか？ということ。

「工芸」とひとくくりに呼んでいますが、種類はさまざま、それを分ける決め手となるのが素材です。でもちょっと見にはそれが判断つかないものが少なくないのも工芸の特徴。土、石、草や木、虫など、素材に選ばれたものの元の姿を知っていると、ますます「！」や「？」が飛びだします。

工芸がこれだけ多彩に発展してきたのは、私たち人間が「こうしたい」と思ったことがらを形にしたものだから。それもよりよく、より美しくと、尽きない願いにこたえて、あらゆる素材を吟味しては多方面に可能性を試し、磨き上げてきた結果が作品の魅力を支え、見る人、そして作る人自身をも惹きつけてきたのです。

そんな風に考えてみると、「ナニデデキテルノ？」というシンプルな発言には、作品へのお近づきの挨拶とともに感動のほとばしりが潜んでいそうです。知識豊富な大人の皆さんも、あらためて、こどもと一緒にこのひと言をつぶやいてみませんか？まだ気づいていなかった、知恵と情熱満載の工芸の秘密を探る鍵がみつかるかもしれません。

## ■人間国宝から人気の現代作家まで当館所蔵作品、約120点を展示

繊維、土、石、ガラス、金属、木、貝殻など、展示室ごとにさまざまな素材の魅力を紹介します。



広報用図版 2  
古伏協司《乾漆車箱 04-03》2004年

麻布を漆で貼り合わせながら作った車。漆も木の樹液なので、ボディはオール植物。本来茶色い漆を赤と黒にしているのは、どちらも金属由来の成分です。



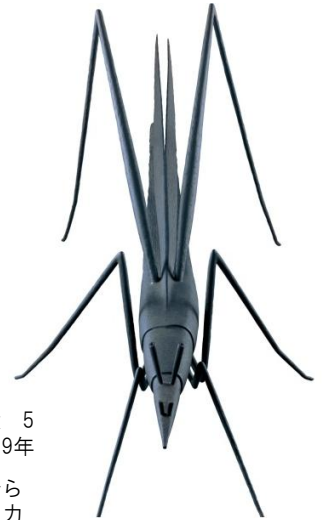
広報用図版 3  
高橋禎彦《とろけること》2011年

私たちがふだん手に取るガラスは冷たくて硬いもの。でも「ホットワーク」という技術でかたちを作るときには、熱くドロドロと溶けた状態です。そんなガラスの秘密をこの作品のタイトルはほのめかしているのかもしれない。クリームのような緑の部分は少しキラッと輝きます。固まる前に、金属の煙でいぶして、そのキラキラ分子だけを付着させたからです。



広報用図版 4  
野口光彦《陽炎》1969年

あどけないヨチヨチ歩きの子。そのふっくらとしたボディは、桐の木から丹念に彫りだされました。白く輝く美肌の秘密は貝殻を使ったお化粧です。



広報用図版 5  
山下恒雄《戦野》1969年

今にも飛びかかってきそうな大バッタ。草むらで出くわしたら思わず逃げたくなるような迫力みなぎるメカニクなボディは、硬さ・シャープさを表現するならお任せの金属製。

## ■新収蔵作品



今回が初公開の新収蔵作品。驚くほどの透明感×輝きのコラボレーションは、「有職織物」の歴史が作り上げた品格の象徴。

広報用図版 6  
喜多川依二  
《頭紋紗二陪織物  
夏袷りんどう花菱丸文》  
2012年

## ■特別展示

膨大な数の陶のパーツによって組み上げられた巨大な作品は高さ約3m。迫力ある存在感を体験してください。



アーティストトーク  
(齋藤敏寿)  
8月7日(日)  
14:00~15:00  
申込不要・参加無料(要観覧券)

参考図版  
齋藤敏寿《archetype00021》2000年  
個人蔵

## ■夏休みの自由研究に役立つ！ セルフガイドを先着で無料配布します。

(こども用2000部・おとな用6000部、いずれも先着)

わかりやすい言葉で作品の魅力を紹介する「こども用」と作家や専門用語の解説を交えた「おとな用」の2種類をご用意。どちらも素材の魅力がよくわかる写真たっぷりです。

※写真は昨年度「こども+おとな工芸館 ピカ☆ポコ」展のセルフガイド



## ■家族で気軽に楽しめる【申込不要・参加無料】のイベント

・ **タッチ&トーク** 会期中毎週水・土曜日 14:00~15:00

工芸館ガイドスタッフと一緒に作品に触れてたのしむ「さわってみようコーナー」と「会場トーク」の2部構成。小学生以下の参加者には「ジロジロめがね」を差し上げます。

・ **ギャラリートーク** 8月21日(日) 14:00~15:00

当館研究員が鑑賞のポイントをわかりやすく解説します。

<会期中随時開催>  
中学生以下対象  
先着2000名

### ・ みんなでつくるコレタ図鑑

作品のひみつを絵とメッセージで紹介するカードを作ります。

### ・ スタンプラリー

セルフガイドを片手に会場でスタンプを集めます。ミニプレゼントあり。

## ■より深く学ぶイベント(〆切・抽選制)

陶芸家の室伏英治さんに教わる「陶芸ワークショップ」や、美術館の仕事を体験する「キュレーターに挑戦！」のほか、3歳から参加OKの「こどもタッチ&トーク」など、事前申し込み制のイベントも多数ご用意。

イベント詳細や申込方法はHPで随時お知らせ中。

「ナニデデキテルノ？」展イベントのページ  
[http://www.momat.go.jp/cg/exhibition/kids\\_adults2016/#section1-2](http://www.momat.go.jp/cg/exhibition/kids_adults2016/#section1-2)

**応募〆切 7月4日(月)**



広報用図版 7  
室伏英治 《Nerikomi Porcelain Sparkle》  
2012年

☆広報用図版の貸出は別添の申請書でお申し込みください。



広報用図版 8  
介川芳秀 《替蓋付赤銅虫形香合》1962年

## 開催概要

展覧会名	(日本語) 所蔵作品展 こども+おとな工芸館 ナニデデキテルノ？ (英語) Museum collection exhibition Crafts Gallery for KIDS+ADULTS What's it made of?
会期	2016年7月16日(土)～9月8日(木)
開館時間	午前10時～午後5時 (入館は閉館30分前まで)
休館日	月曜日(7月18日は開館)、7月19日(火)
主催	東京国立近代美術館
会場	東京国立近代美術館工芸館
アクセス	東京メトロ東西線「竹橋駅」1b出口 徒歩8分 東京メトロ東西線・半蔵門線 / 都営新宿線「九段下駅」2番出口 徒歩12分 〒102-0091 東京都千代田区北の丸公園1-1
観覧料	一般210円(100円) 大学生70円(40円) 高校生以下および18歳未満、65歳以上、「MOMATパスポート」をお持ちの方、友の会、賛助会員、MOMAT支援サークルパートナー企業(同伴者1名まで、シルバー会員は本人のみ)、キャンパスメンバーズ、障害者手帳をお持ちの方とその付添者(1名)は無料。 * ( )内は20名以上の団体料金。いずれも消費税込。 * 割引・無料には入館の際、学生証・運転免許証など年齢のわかるもの、会員証、社員証、障害者手帳をご提示ください。
	<b>無料観覧日: 8月7日(日)、9月4日(日)</b>
掲載用お問い合わせ先	Tel: 03-5777-8600 (ハローダイヤル)
公式HP	<a href="http://www.momat.go.jp">http://www.momat.go.jp</a>

## 工芸館について

工芸館は東京国立近代美術館の分館として1977年に開館しました。赤レンガが目印の工芸館の建物は1910(明治43年)に建てられた旧近衛師団司令部庁舎を保存活用したもので、1972年に重要文化財に指定されています。

工芸館を含む北の丸公園エリアには、東京国立近代美術館(本館)や、科学技術館、日本武道館など、多くの文化施設があります。



広報用図版 9  
工芸館外観



広報用図版 10  
ポスター

報道関係の方の  
お問合せ先

## 東京国立近代美術館工芸館

展覧会担当/今井・西岡 広報担当/高橋

Tel: 03-3211-7781 (工芸課直通) E-mail: koge-pr@momat.go.jp

掲載用お問合せ先

Tel: 03-5777-8600 (ハローダイヤル)

公式HP

<http://www.momat.go.jp>

広報用図版 請求票

FAX : 03-3211-7783 (工芸課) 広報担当 行  
発信日 年 月 日

<input checked="" type="checkbox"/>	No.	すべて東京国立近代美術館蔵
	1	音丸耕堂《彫漆紫陽花茶器》1994年
	2	古伏脇司《乾漆車箱 04-03》2004年
	3	高橋禎彦《とろけること》2011年
	4	野口光彦《陽炎》1969年
	5	山下恒雄《戦野》1969年
	6	喜多川俵二《頭紋紗二陪織物夏挂り んどう花菱丸文》2012年
	7	室伏英治《Nerikomi Porcelain Sparkle》2012年
	8	介川芳秀《替蓋付赤銅虫形香合》1962年
	9	工芸館外觀
	10	ポスター

- ・ご希望の図版の左枠内に✓を入れてFAXでお送りください。
- ・作品図版はJPEGデータをご用意しています。
- ・展覧会広報のみにご使用ください。著作権保護のため、他の目的でのご使用は固くお断りいたします。
- ・掲載見本を広報担当者へご寄贈ください。(Webサイトの場合は掲載時にお知らせ下さい)

ご担当者名： E-mail：

貴社名：

出版物・放送番組・ウェブサイト名：

URL (http://www )

掲載予定号・発行日/放送・公開日時等：

電話番号： ( ) Fax: ( )

\*展覧会をご紹介いただける場合は、読者プレゼント用招待券をご用意いたします。

希望しない/希望する ( 組 枚)

〒

チケット送付先：

【報道関係の方からの本資料に関するお問い合わせ先】  
東京国立近代美術館工芸館 広報担当/高橋 TEL:03-3211-7781 (工芸課直通)  
E-mail: koge-i-pr@momat.go.jp HP: http://www.momat.go.jp

※工芸館広報のメールアドレスが新しくなりました。